



ゆづりは

堺市立図書館だより

第18巻 第2号 (通巻67号)

発行日 令和5年9月10日

編集・発行 堺市立中央図書館
〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1

電話 072 (244) 3811

FAX 072 (244) 3321

https://web.d-library.jp/SKI01/g0102/
libcontents/search/?gid=1025



▲電子版

G7 大阪・堺貿易大臣会合関連ブックフェア 各図書館で開催



Trade Ministers' Meeting
in OSAKA-SAKAI

令和5年10月28日、29日開催のG7大阪・堺貿易大臣会合に合わせ、関連ブックフェアを開催しています。9月・10月に開催の館もありますのでぜひご来館ください。



▲ブックフェアの様子 (中図書館)

目次

- ・G7 大阪・堺貿易大臣会合関連ブックフェア 各図書館で開催 ...1
- ・この本で解決！「私たちの身近にいる鳥に関する質問」 ...2
- ・堺市へのふるさと納税を活用して絵本を購入しています ...2
- ・シリーズ堺の人物「岡村平兵衛」 ...3
- ・「堺ライオンズクラブ」様から電子図書館コンテンツをご寄贈いただきました ...3
- ・司書のイチ押し『家守綺譚』 ...4
- ・堺市立図書館電話番号一覧 ...4



中央図書館 (6月開催)

一般書を中心に中世・堺の貿易、参加国の歴史や文化についての本を展示。特に参加国の文化についての本がよく借りられていました。G7について知っていただく、いい機会になったと感じました。

南図書館 (8月開催)

貿易関連の資料に加え、参加国の暮らしや文化に関する本を集めました。『さしが絵で発見！世界の国ぐに4 (イギリス)』や『ドイツのごはん』など児童書も展示し、子どもにも楽しんでいただくことができました。

中図書館 (7月開催)

日本も含めた参加国の暮らしや文化など、さまざまな角度から紹介した本と、貿易に関する本を集めて展示しました。本だけでなく、2023年G7貿易大臣会合大阪・堺推進協力協議会が作成したPRちらしを同時に配架しました。

東図書館 (9月開催)

参加国や貿易について知る、学ぶことができる資料を取り揃えています。また、『堺みなとまち絵地図』をはじめ、歴史における堺と世界との交流についての資料も展示・貸出を行っています。子どもから大人まで、あらゆる世代に楽しんでもらえるブックフェアです。

北図書館 (8月開催)

貿易や国際会議についての本や、参加国の歴史や暮らし、文化について楽しく学べる本を中心に展示しました。『ドイツではそんなに働かない』や『フランス人は人生を三分割して味わい尽くす』のような各国の国民性に関する新書がよく借りられており、「G7大阪・堺貿易大臣会合」を身近に感じてもらう良いきっかけになったと思います。

美原図書館 (9月開催)

参加各国の歴史や文化を紹介する本のほか、安全保障や気候変動、SDGsについての本を展示しています。なおSDGsの本については「SDGsブックフェアコーナー」でも、17のゴール(目標)ごとのブックリストとともに展示しています。

西図書館 (10月開催)

会合中の開催です。一般書・児童書ともにご用意しています。参加国についての理解を深めませんか。

ゆづりは とは...

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人河井醉茗氏の歌碑があります。

年ごとに
ゆづりゆづりて
譲り葉の
ゆづりあとに
また新しく



この歌にちなみ、年月を経て、世代を越えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だより「ゆづりは」と名づけました。

バックナンバーは

こちらから▶



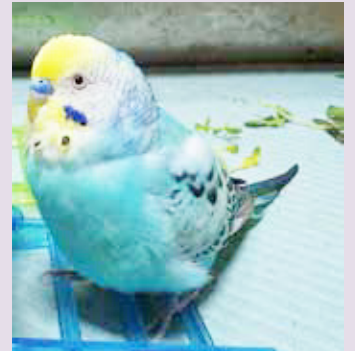


私たちの身近にいる鳥に関する質問

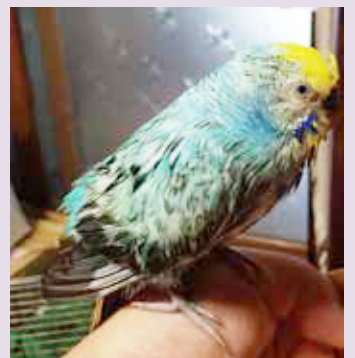
図書館に寄せられた様々な質問と回答を紹介します

Q 飼育しているセキセイインコが水浴びをするときれいな青い羽が灰色に変わり、乾くとまたもとに戻ります。不思議なのでその仕組みを知りたいです。

A 『鳥の雑学がよ〜くわかる本』（柴田佳秀 / 著 秀和システム）P.44「鳥の羽毛の色には、化学的色素による「色素色」と物理的な構造による「構造色」の 2 種類があります。（中略）構造色は、羽毛にある微細構造ですから、物理的に壊れると色が変わってしまいます」と記載がありました。構造色とは、微細な構造に光が当たり光の干渉・回折・散乱によって見える色のことです。また、『モルフォチョウの碧い輝き 光と色の不思議に迫る』（木下修一 / 著 化学同人）P.131-132 に、クジャクの羽について「・・・この構造が色をつくっているとしています。また、水で濡らすと色を壊してしまうことから、空気と入れ替わった水が羽とよく適合している」とありました。セキセイインコの青い羽の色は、構造色によるものであり、水に濡れることで、羽毛の微細構造が壊れて目に入る光の波長が変わり、灰色に変色することがわかりました。



↓ 濡れると羽の色が変わる



傷ついた野生鳥獣を見かけたら▶



Q 図書館に来る途中、木の下に落ちていた野鳥のヒナを拾ったのだがどうしたらよいですか。

A 『散歩で楽しむ野鳥の本』（大橋弘一 / 著 山と溪谷社）P.93 に「野鳥は野生動物であり、その生態を考えれば雛は拾わないことが一番です。」とあります。絵本『ぼくとりなんだ』（和歌山静子 / 作・絵 日本野鳥の会）には、「日本野鳥の会からのメッセージ 地面にいるヒナを見つけたら？ 親鳥が近くにいることが多いので、私たちはそっとその場を離れましょう。」とありました。かわいひナが地面に落ちていたら、助けたいと思いますが、そっとそのままにして立ち去るのがよいようです。

■ 堺市 HP には「傷ついた野生鳥獣を見かけたら」のページがありますので、参考にしてください。

(https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/gomi/kankyo_hozen/yaseichoju/kizutsuitayaseityouju.html)

(梅分館 レファレンス担当)

堺市へのふるさと納税を活用して絵本を購入しています

堺市立図書館では、全国から寄せられた指定寄附金（図書館の絵本購入に限定して活用される寄附金）を活用し、乳幼児向けの絵本を購入しています。購入した絵本は年齢別のセットにして堺市内で活動する子育てサークルや子育てひろばなど、子育てに関わる団体へ約半年間貸出する「親子で読書」事業で使用しています。次の貸出申込受付は令和 6 年 2 月の予定です。

絵本のセットは、司書が出向いて絵本の楽しさを伝える活動「親子いっしょにえほんひろば」などでも活用しています。今年度の実施については、令和 6 年 2 月 29 日（木）まで随時受付をしています。詳しい情報や寄附の申し込み方法などについては図書館 HP をご確認ください。（中央図書館 こども室担当）



▲親子いっしょにえほんひろば



▲ふるさと納税

シリーズ

堺
の人物おかむらへいべえ
岡村平兵衛

岡村平兵衛は堺で製油・製薬を生業にしていた人物で、刀剣用の丁子油（ちょうじゆ）製造に優れていました。代々この名前を継いでおり、初代は寛文12（1672）年にオランダから伝来した蒸留技術をいち早く導入して丁子油の製造販売を始めました。この製法は岡村家の秘法として他にもらすことを極力防止し、「他家無頼、一子相伝、丁子油」と題し売り広めました。

19代平兵衛は嘉永5（1852）年に大阪の呉服商の息子として生まれ、岡村家の長女小照と結婚し平兵衛を襲名、昭和9（1934）年に亡くなっています。平兵衛は、向井村（現在の堺区北東部）初代村長、村会議員、郡会議員、府会議員、商工会議所副会頭等の要職を勤め、『左海民俗』86号には、「式典があるごとに平兵衛翁が六尺二寸（187cm）の長身に羽織袴で講堂に来られた。鉄扇を持ち長髪をなびかせ、白い顎髭を垂らして、赤い鼻緒の下駄をはかれ仙人のような杖をついておられた。」と書かれています。平兵衛は元来仏教徒でしたが、明治19（1886）年のコレラの流行で3人の子どもを亡くし、これを機にキリスト教に改宗します。



明治21（1888）年、草むらに行き倒れていた2人のハンセン病患者を自宅に連れ帰ったのがきっかけで、この病気に効くとされる大風子油（だいふうじゆ）の製造を始めます。5代前が医家であったので家に医書があったこと、懇意であった塩野義三郎（塩野義製薬の創立者）から大風子（アカリア科の落葉高木。タイ・カンボジア原産）を取り寄せてもらったことなどから、得意の製油技術を駆使して製造しました。自宅を開放し、大風子油を無料で提供しただけでなく、大風子油の絞り滓を入れた風呂や食事も自由に取れるようにし、14、5年の間に千数百人のハンセン病患者を救済したと伝えられています。その後、本格的に大風子油を製造・販売し、ハンセン病の特効薬プロミンが現れるまで、質の良い「泉州堺岡村の大風子油」は全国的に用いられ、第五版日本薬局方（医薬品の規格基準書）の標準油ともなりました。長島愛生園（ハンセン病療養所）発行の『愛生』昭和33年9月号には、「翁は『どうせ儲け仕事ではない。損をするのは覚悟の上』と大風子油製造をやりだしたのである。こうして始まった大風子油は後に至って総ての全国療養所で用いられ、しかも頗る良質であって、他所の何れで搾られた本油を遥か凌駕しておった。しかも日本において医療を目的として本油を搾り出した元祖は、おそらくこの岡村平兵衛翁であつたろう。」と書かれています。

『日本医事新報』昭和61（1986）年5月24日号には、岡村平兵衛の訃報を知った与謝野晶子が詠んだとされる歌が紹介されています。「郷里の先覚岡村平兵衛翁を悼む 幼き日 イエスの使徒の君と見て 頭下りし 丈高き人」

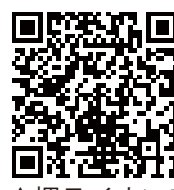
参考文献

- ・『御成婚と堺市』 松永伊太郎／著 南海週報社 1924年
- ・『愛生』昭和33年9月号
(国立国会図書館デジタルコレクション)
- ・『足跡は消えても』 森幹郎／著 日本生命済生会 1963年
- ・『日本香料史』 山田憲太郎／著 同朋舎 1979年
- ・『日本医事新報』 No.3239 昭和61年5月24日号
(大阪府立中央図書館所蔵)
- ・『左海民俗』第86号 堺民俗会 1994年

「堺ライオンズクラブ」様 から電子図書館コンテンツをご寄贈いただきました



堺ライオンズクラブ様から、今年も堺市立図書館ホームページ上の電子図書館で読める児童・生徒向けコンテンツをご寄贈いただき、多くの子どもたちにとって魅力あるコンテンツが電子図書館に加わりました。ぜひご覧ください。



▲堺ライオンズ
クラブコレク
ション

(中央図書館 企画情報係)



司書のイチ押し



いえもりきたん 家守綺譚

梨木香歩／著 新潮社 2004

時代は明治期。売れない物書きの綿貫征四郎は、ボートによる水難事故で亡くなった学友・高堂の実家の家守を任せられる。その暮らしの日々は四季折々の情景の中で展開され、小鬼やカワウソ、鮎の人魚、果ては床の間の掛け軸からボートを漕いで現れる亡友の登場といった、様々な不思議との出逢いが綿貫征四郎の手記という形の中で本の中に記されている。

この小説は28篇の連作短篇からなり、すべての章題に草花や樹木の名がつけられている。1章が5-7ページほどの小品の中に章題の植物が出てくるのだが、いずれの植物も物語のワンポイントとして登場し、情趣溢れた描写の数々には、その道に精通した作者の瑞々しい感性が表れており、清澄な気配と馥郁(ふいく)とした草花の香りが漂っているような錯覚を思わせる。登場人物には、亡友・高堂をはじめ、世故に長けた隣のおかみさんや囲碁仲間の和尚、得体の知れない長虫屋など個性豊かな面々がおり、彼らとの軽妙な掛け合いが堪らなく楽しい。そのほかにも、綿貫に懸想をしてしまったサルスベリに、道理を弁えた犬のゴロー、義に篤い狸といった人ならざる者があたかも人格を持ち、日常風景に溶け込んでいる様子は牧歌的であり、民話で語り継がれてきた日本の原風景を垣間見るようである。

そして、本作品の魅力は、主人公である綿貫の精神性からもたらされる。文明開化の揺籃のなかで、時代の進歩と己の精神との齟齬を認める綿貫の実直な思いには、精神労働者としての高邁な気質が映し出されているように思う。綿貫の述懐の中に、とても印象的な一節がある。『日がな一日、憂いなくいられる。それは、理想の生活で

はないかと。だが結局、その優雅が私の性分に合わんのです。私は与えられる理想より、刻苦して自力で掴む理想を求めているのだ。こういう生活は、(中略)私の精神を養わない。』やや小心でありながらも善良で清貧な綿貫の精神がよく映し出された言葉であり、とても示唆に富んだ内容である。この物語はただ美しいだけではないと、畏怖の念を抱いた一節であるが、みなさんはどう思うだろうか。物語を最後まで読んで、確かめていただきたいと思う。

運命的な本との出会いがあるとなれば、本作品が私にとっての一冊といえる。初めてこの本を読んだ際、息を呑むほど美しい文章に心を打たれ、1週間ほど腑抜けた状態であったことを今でも覚えている。この本がなければ読書にのめり込むことも、まして司書になることも考えられなかった。人生の道標となった一冊であり、最も大切な一冊である。

『家守綺譚』には、続編の『冬虫夏草』や、本編でも登場する綿貫の学友・村田の土耳其(トルコ)留学を記した姉妹作『村田エフェンディ滞土録』がある。どれも寝食を忘れて耽読した珠玉の名作である。これらの作品も是非ご一読いただきたい。

(A・S)



梨木香歩『家守綺譚』(新潮社)



▲この本の予約はこちらから

堺市立図書館電話番号一覧

中央図書館	244-3811	西図書館	271-2032	人権ふれあいセンター船松人権歴史館	
くすのき号	244-3811	南図書館	294-0123	人権資料・図書室	245-2534
堺市駅前分館	222-0140	梅分館	296-0025	青少年センター図書室	228-6331
中図書館	270-8140	美木多分館	296-2111	図書館カウンター堺東	232-1011
東百舌鳥分館	234-9600	北図書館	258-6850		
東図書館	235-1345	美原図書館	369-1166		
初芝分館	286-0071				



▲図書館 HP

<https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/>